

～バンドネオンひとり旅～

小川紀美代 (Bandoneon) solo

哀愁のアルゼンチンタンゴ、いつかどこかで聴いたあの唄。
懐かしくも切ない、遥かなる南米の風。

7月9日(土)長岡・ギャラリー mu-an

長岡市呉服町 2-1-5

18:30 open/19:00 start ¥2500(1Drink 付)

お問い合わせ・ご予約: 0258-33-1900(mu-an)



プロフィール* 小川紀美代(バンドネオン奏者)*

日大芸術学部卒。

バンドネオンの音色に魅せられて、ほぼ独学で奏法を学び始め 2001 年単身ブエノスアイレスに渡る。

2003 年、アルゼンチン最大の音楽祭「コスキン・フェスティバル」に日本代表として出演、2005 年には大統領府博物館ホール他 4ヶ所の公式コンサートに参加、以降、Jun Carlos Carabajal, Gustavo Ariel Jones 等、現地ミュージシャンとのレコーディングや共演も多く、チャランゴ奏者の福田大治、サンポーニャ奏者の岡田浩安と同行した 2010 年の南米ツアー(ボリビア～パタゴニア～ブエノスアイレス)でも好評を博す。2007 年からは、韓国で行われているアートフェスティバル「アジアアートエクステイジ」に毎年招聘されるなど、アルゼンチンタンゴに限らず、CM音楽や劇伴への参加、演劇やダンス、映像、現代美術などとのコラボレーションに積極的に取り組んでいる。ほか、幅広いジャンルのミュージシャンとのライブ演奏やレコーディングに参加している。国内外でも数少ない女性奏者。